

会 議 録

会 議 名		第 65 回 八王子市ごみゼロ社会推進協議会			
日 時		令和 4 年(2022 年)10 月 4 日(火)	開始 午後 2 時 00 分	終了	午後 3 時 30 分
場 所		八王子市役所本庁舎 8 階 803 会議室			
出 席 者	委 員	石井委員、今委員、加地委員、間嶋委員、下山委員、天野委員、 押山委員、清水委員、安瀬委員、中村委員、大貫委員 以上 11 名			
	事務局等	真辺資源循環部長、奈良ごみ減量対策課長、河内廃棄物対策 課長、堂本清掃施設整備課長、久保田戸吹清掃事業所長、平井 館清掃事業所長、岡田戸吹クリーンセンター所長、熊澤館クリー ンセンター所長 【ごみ減量対策課】白鳥主査、田代主査、前川主査、小楠主任、 松川主事、小口主事、宮本主事、森田専門員 【ごみ総合相談センター】河井主査 【協力会社】衛藤、渡邊、勝見			
欠 席 者		齋藤委員、来住野委員、上村委員 以上 3 名			
議 題 等		1. 議題 ごみ処理基本計画の改定について(各施策の現状・課題①) 2. その他			
公開・非公開の別		公開			
傍 聴 人		なし			
配 布 資 料		会議次第 八王子市ごみゼロ社会推進協議会 席次表 八王子市ごみゼロ社会推進協議会 委員名簿 資料 1 ごみ処理基本計画の改定について 各施策の現状・課 題① 資料 1(別紙) 各施策の現状・課題(基本方針 1 及び 2)			

	<p>議題</p> <p>1. ごみ処理基本計画の改定について(各施策の現状・課題①) 【意見、質疑応答等】</p> <p>委員：窓付きの封筒について、プラスチックが利用されていて紙ごみとして資源に出せないのが、企業側に半透明の紙にしてもらうよう呼び掛けてはどうか。また、袋に入った郵便物についても、企業側に働きかけられないか。</p> <p>市：市からの郵便物の窓には半透明の紙を使用している。プラスチックは可燃ごみとなるため、企業側にも啓発していく必要があるが、市単独では困難であるため、東京都や国とも協議しながら対応していきたい。</p> <p>委員：「プラ」と書いていけば分別できるが、「プラ」と書いてなく、分別が分かりものについてもっとわかりやすくしてほしい。</p> <p>市：「プラ」と書いていけば容器包装プラスチック、書いてないものは製品プラスチックが基本である。啓発について、検討する。</p> <p>委員：プラスチックが可燃ごみに入っていることが多いと思うが、処理する上で問題はないか。</p> <p>市：処理する上では問題ないが、製造過程で化石燃料を使うため、プラスチックを使わないようにすることで製造過程及び処理過程での二酸化炭素排出量を減らすことができる。</p> <p>委員：マイ箸やマイフォークの利用が増えればよいと思う。</p> <p>市：マイ箸やマイフォークはもちろん、マイボトルの利用等も出前講座等で啓発していきたい。</p> <p>委員：学生は分別をどのくらい実施しているのか。</p> <p>委員：大学に設置されているごみ箱は分別が細かく分かれているが、捨てる際に細かく分別されてはいないため、周知が必要である。</p> <p>委員：日常の生活圏がいくつかの自治体を横断していると各自治体で分別が異なるので混乱する。</p> <p>市：本市は埋立場所がないため、分別区分は他都市に比べて厳しいと思う。</p>
--	--

	<p>委員： あるテレビ番組で、昔は分別なしでゴミを捨てていたことに若者が驚いていたので、ある程度は分別の意識がついてきたのではないか。</p> <p>市： 分別意識は高まってきており、現在は市民の皆様に協力をいただけている。今後は高齢化によって分別が難しくなる可能性があるため、今後は技術革新による自動分別等も視野に入れていく必要がある。</p> <p>委員： ダンボールコンポストは濡れたらだめになるのか。また、堆肥は利用されているのか。どれくらい普及しているのか。</p> <p>市： 肥料は個人利用も可能だが、不要な場合は市で回収し、駅や学校等で利用している。講習会も行っているため、そちらも活用していただきたい。また、中の基材を入れ替えれば、ダンボール自体は壊れるまで使用でき、ひと箱で約3ヶ月程度すると45kg程度の堆肥が生産される。中の基材も含めて年間650台程度普及している。</p> <p>委員： 堆肥の収集日はいつか。</p> <p>市： 電話いただければ堆肥を収集する。</p> <p>委員： タバスケはどのような店舗が何店舗くらい登録されているのか。また、委員が協力できることはあるか。</p> <p>市： 食品店やパン屋、洋菓子店、すし屋、野菜直売所等、現在26店舗に登録いただいている。委員からは店舗等の紹介等で協力いただけるとありがたい。協力店も市民も利用料は0円であり、現在2,060人程度の市民に登録いただいている。登録店舗も増やしていきたいと考えている。</p> <p>委員： タバスケはネットで注文して買いに行くとのことだが、店舗の前を通ったとき等に、ネット注文なしで直接買いにいけるようにはできないか。</p> <p>市： 現時点ではネットでの注文のみである。直接購入について、今後検討していきたい。</p> <p>委員： フードドライブの認知度が上がっており、先月は600kgを超えるご支援をいただいている。フードドライブは項目としては必要かもしれないが、福祉の観点で支援したいという方を軸に進めていっていただいた方が良いと思う。</p> <p>市： ごみ減量対策課としては食品ロスという観点で行うが、福祉部署や保健所とタイアップして引き続き行っていく。</p>
--	--

	<p>委員： 生ごみ処理機の補助について、事業者向けにやる予定はないか。</p> <p>市： 補助についてはあくまで家庭用の補助である。</p> <p>委員： 生ごみを焼却処理する場合に比べて、ダンボールコンポストで堆肥化する場合の方が CO₂ の排出削減は大きいのか。</p> <p>市： 物理的には大きいですが、生ごみ自体はカーボンニュートラルの考えから CO₂ 排出量として考慮しない。収集運搬や効率的な焼却としては CO₂ 削減に寄与する。</p> <p>委員： CO₂ も減るのであれば、ごみ減量だけでなく CO₂ 削減にも寄与することを周知して啓発に繋げていければよいと思う。</p> <p>委員： 市への転入の際に分別マニュアルを不動産会社からもらったが、別の方はもらえなかったとの話を聞いた。不動産会社と連携して分別マニュアルを配布するような取り組みはされていないのか。</p> <p>市： 市としては住民票を移された際に配布しているが、不動産会社とは連携した取り組みは行っていない。</p> <p>委員： 学生だと住民票を移さない場合も多いので、学生にも配布されるような取り組みがあると良い。</p> <p>市： ホームページでの公表や 3 月に各住宅への配布を行っている。学生にも配布できるような取り組みについては、不動産会社以外にも大学との連携等を考えていく。</p> <p>委員： 3 月配布だと 4 月入居の場合もらえない。</p> <p>市： ホームページでの周知のほか、管理人や不動産会社、大学等からの配布等も考えていく。</p> <p>委員： 管理会社において、集合住宅の集積所等に分別マニュアルを掲示することはできないか。</p> <p>市： 不良集積所への啓発と併せて、不動産会社や管理会社との連携を考えていきたいと思う。</p> <p>委員： 詐欺防止の講習会や大学のオリエンテーション等と併せてごみ分別の啓発も行えばよいのではないか。</p> <p>市： 動画などは作っているが、その周知も不足しているようなので、周知方法等も考えていく。</p> <p>委員： 高齢化等により集団回収を実施している団体が少なくなっているため、在り方を考える必要があると思う。</p>
--	--

	<p>市：平成29年度は388団体、令和3年度353団体とコロナ禍もあったため、少なくともはなってきたが、集団回収を行っている地域はごみに対する意識が高く、可燃ごみが少ない傾向にある。</p> <p>委員：集団回収用にごみを家に溜めておくのが億劫で市の行政回収に回す人も多くなっている。</p> <p>委員：子供会などでの集団回収は環境教育の一環にもなるため、無くさないでほしい。</p> <p>委員：焼却施設の見学等を市立小中学校でのカリキュラムにし、環境教育を行うような取り組みはされないのか。</p> <p>市：小学校4年生のカリキュラムで焼却施設の見学を行っており、小学校に対しては環境教育を行っている。今後は中学校、高校、大学の方まで伸ばしていきたいと思う。</p> <p>委員：視点を変えて毎年テーマをもって行う等工夫を持って行うとよいと思う。</p> <p>市：工夫して行う。こどもから親への啓発も期待している。</p> <p>委員：子どもたちだけではなく高齢者に対する呼びかけも重要である。</p> <p>委員：人が一人亡くなると大量のごみが出るため、そちらについても啓発し、早めにごみ処理をしていく必要がある。</p> <p>委員：リサイクル推進員やごみゼロ社会推進協議会委員等名前がついている人はいるが、そこから一市民にどう広げていけばいいのか。そういう意味では小学校への環境教育もありだと思うが、すそ野を広げていくことが課題だと思う。</p> <p>市：色々な施策等を用意してもどれだけの市民の方がその情報にたどり着けるかが課題だと思うので、様々なツールを利用するとしか現時点では言えないが引き続き考えていく。</p> <p>2. その他</p> <p>委員の改選について</p> <p>市：11月12日をもって任期満了に伴う委員の改選がある。</p> <p>次回のごみゼロ社会推進協議会の日程について</p> <p>市：第66回協議会は、12月開催予定。後日日程調整を行う。</p>
--	---